

学校教育目標「故郷を愛し、未来を切り拓く力を備えた児童・生徒の育成」



# 養徳の森

令和6年5月17日（金）  
学校だより 第2号  
玉陵中学校長 松本 恒明

「大好き 玉陵」

「命」「人」「心」「物」を大事にする生徒に、そして、「**自律貢献**」

## 読書活動優秀実践校として 文部科学大臣表彰受賞

4月23日（火）、令和6年度子どもの読書活動推進フォーラムが開催され、これまでの本校の取組が認められ、読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受賞しました。

本校の図書貸出冊数は、令和2年度が計1,429冊、3年度計2,016冊、4年度計8,943冊、5年度計12,253冊と毎年大幅に増加しています。この4年間で8倍を超えており、驚異的なペースです。

貸出冊数がこのように増加したのは、これまでの図書委員会における地道な活動やPTA等の方々による読み聞かせ活動によって、子どもたちが本のよさを味わい、親しむ機会を設けていただいたおかげです。また、子どもたちが行きたくなるような魅力的な図書室設営も大きく寄与しています。

「賢者の書」でデビューした作家の喜多川泰氏は、人生をよりよく生きるために読書の重要性を唱えています。情報増の今の社会では、読書は「心のお風呂」であり、本を読む人にはストレスを緩和させる場所があるそうです。また、「夢は自生するが、志は自生しない」ので、読書を通して様々な生き方・価値観に触れて志を手にいれてほしいと述べています。

今後も子どもたちが本に親しみ、志を持って人生を歩んでいくことを願っています。

## いよいよ体育大会！

### 練習や準備で生徒の「主体性」輝く

5月7日（火）の結団式を皮切りに、これまで子どもたちは体育大会の練習を意欲的に取り組んできました。特に私が感銘を受けたのは、どの練習においても生徒主体で練習に取り組んでいる姿です。3年生の各リーダーが前に出て説明や指示を行い、全体が動く姿を見ながら、とてもうれしい気持ちになりました。最初はとまどいや不安の様子があっただけで、リーダーたちも、日に日に堂々とした姿に変容しています。

全校生徒で取り組むマスゲーム・ダンス、応援合戦など見どころがたくさんあります。体育大会当日はたくさんの皆様方にご来場いただき、子どもたちの『輝石』を心ゆくまでご参観いただけたらと思っています。

なお、5月12日（日）のPTA美化作業ではたくさんの保護者の皆様にご参加いただき、心から御礼申し上げます。



## ～小中合同による避難訓練～

4月25日（木）、小中合同による避難訓練を実施しました。地震発生、その後、津波を想定しての訓練でした。まず地震の揺れが収まるまで机の下に身を潜め、安全確認後に運動場へ避難しました。その後、津波が発生したと仮定し中学校棟の3階に小学生・中学生とともに避難をしました。

全体的には真剣に取り組んでいる様子が見えましたが、万が一のことを考えた場合、命を守る行動ができるように、より意識を高めていく必要があります。

熊本地震、能登半島地震もそうですが、いつ、どこで、地震が発生するか分かりません。ご家庭でもお子様とご確認をお願いします。

## 学校や地域に貢献！

### ☆スクールボランティア☆

5月10日（金）の早朝、スクールボランティアを実施しました。地域の方々にもご協力をいただき、校内・県北病院の除草作業、新玉名駅の窓ふきを行いました。

伝統ある本校のスクールボランティアは、学校の輝きであり、誇りとなっています。

